

平成 26 年 7 月 7 日

長崎市教育委員会

## 長崎初の<sup>よろいりゅう</sup> 鎧 竜 化石が発見されました

福井県立恐竜博物館と長崎市教育委員会は、長崎半島西海岸（白亜紀後期の三ツ瀬層：約 8100 万年前）から鎧竜（草食恐竜）の化石を発見しました。また、昨年度発表したものとは別個体の獣脚類（肉食恐竜）の化石も発見しました。

### 記

#### 1 発見化石

##### (1) 鎧竜の歯（1点）

最大幅 9. 8 mm、歯根を含む高さ 9 mm（図左）

##### (2) 獣脚類の歯（2点）

①最大幅 7. 2 mm、高さ 14. 3 mm（図中央）

②最大幅 5. 5 mm、高さ 6. 7 mm（図右）

#### 2 発見場所 長崎市の長崎半島西海岸

#### 3 特記事項 国内における鎧竜の化石は、北海道（頭骨の一部と歯：白亜紀後期）、富山県（足跡：白亜紀前期）、兵庫県（歯：白亜紀前期）、熊本県（歯：白亜紀後期）が知られ、長崎の化石はこれらに次ぐ国内5ヵ所目の発見となり、最も若い鎧竜の化石記録となります。鎧竜は白亜紀の草食恐竜で、アジアでは約 20 種が報告されていますが、歯のみの化石では種の特定は困難です。

また、獣脚類の歯については、昨年 7 月に発表した大型獣脚類の化石とは異なる場所から見つかっており、別個体の獣脚類のものであります。

なお、近年の富山大学らによる地層の年代測定により、今回のものを含む恐竜化石の年代は約 8100 万年前のものと、これまでの発表（約 8400 万年前）より数百万年若く見積もられています。



長崎市の三ツ瀬層から新たに発見された恐竜の歯の化石

左：鎧竜の歯 中央：獣脚類の歯（前上顎歯） 右：小型獣脚類の歯

（画像提供：福井県立恐竜博物館／長崎市教育委員会）